

## 上原一慶先生のご逝去を悼んで

上原一慶先生を本学にお迎えすることができたのは、2007年4月のことでした。そして、翌2008年4月からは比較地域研究所所長の重責を担っていただくこととなりました。しかし、先生は2014年2月2日、本学在職中に亡くなられました。我々は先生の突然のご逝去に呆然とし、残された課題にどのように対処すべきか戸惑いました。

先生は、1967年に東京大学教養学部をご卒業ののち東京大学大学院を経て、1974年に中国経済論の担当者として駒澤大学経済学部にて奉職されました。その後、1981年から2007年3月までは京都大学経済研究所にご勤務されています。

上原先生のご研究は、改めて申すまでもなく、中国社会主義経済への深い関心に根差しています。中国社会主義はもとより、改革開放以後の中国経済そして現代中国の失業問題など、単著や共編著に加え、論文も数多く発表されました。透徹した論理と鋭い切り口を持って執筆された先生のご研究には多くの者が共感を寄せ、今なお後進のものに対する多くの示唆を与え続けています。

“イケイケさん”と親しみを込めて呼ばれた先生は、真摯な学問的情熱と滋味あふれるお人柄により多くの人たちと交流を深められました。そのような幅広い交流関係を通じて、当比較地域研究所の国際シンポジウムや講演会などを成功裡に行うことができたのは私どもがよく知るところです。

1998年4月に誕生した比較地域研究所は、初代所長の滝沢秀樹先生の後を引き継いだ上原一慶先生のもとで現代中国の諸問題についての研究をリードしてきました。昨今の中国が経済的格差の拡大やバブル景気の崩壊、さらには深刻化する環境問題など解明すべき困難な課題に直面するいま、先生の果たされるべき役割にはいっそう大きなものがあったと思え、残念でなりません。

思えば、人との出会いは私たちを幸福にし、明日への励みをもたらします。先生のご冥福をお祈りいたします。ほんとうに長い間、お疲れ様でした。

2016年2月

大阪商業大学 比較地域研究所所長・教授 **前 田 啓 一**

